

京都大学大学院教育学研究科
教育実践コラボレーション・センターE.FORUM

学力評価スペシャリスト研修

第2回 フォローアップ研修

C.「目標に準拠した評価」の実現

2017年12月16日
京都大学 西岡加名恵

1.「目標に準拠した評価」の意義と課題 (1)教育評価とは何か？

- ① 教師が学習者(児童・生徒・学生)の能力を評価する。
- ② 教師が学習者の学力を評価する。
- ③ 教師が自分の教育実践を評価する。
- ④ 社会が学校の教育を評価する。

※何番が正解でしょうか？

→教育を評価するのが、教育評価。

→教育評価は、教育を改善するためのもの！

(2)そもそも教育とは何か？

学力は、能力一般ではない。目標として設定された能力の部分を目指す。

働きかけ＝教育

事後：総括的評価

途中：形成的評価

事前：診断的評価

教育評価の中核は、
学力評価！
教育評価は、本来、
「目標に準拠した評価」

説明責任

(3)「目標に準拠した評価」の導入 ←2001年改訂指導要録

- 指導の前に、目標を明確にする △目標・評価規準(基準)をどう定めればいいのか？
- 目標と照らし合わせて評価する △どんな評価方法を用いればいいのか？
- 指導を改善する(「指導と評価の一体化」) △目標に教育が縛られる？
- すべての子どもに学力を保障する ~ゴール・フリー評価
羅生門的アプローチ

2. 学力評価計画の立て方

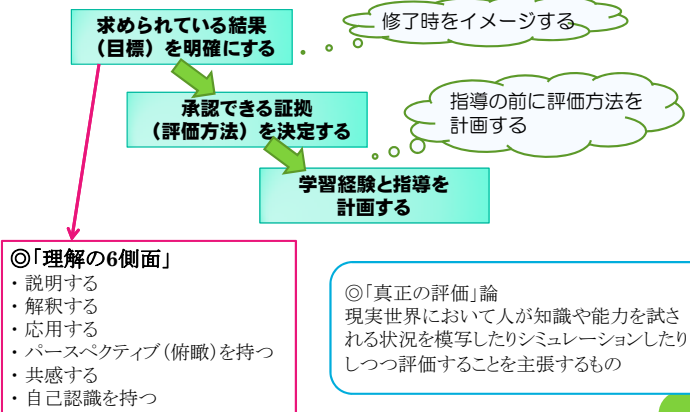
(1) “目標分析”の問題点

	単元1	単元2	単元3	...	総括的 評価
関心・ 意欲・ 態度	目標aa 目標ab 目標ac	目標ad 目標ae 目標af	目標ag 目標ah 目標ai	...	合計・ 平均
思考・ 判断・ 表現	目標ba 目標bb 目標bc	目標bd 目標be 目標bf	目標bg 目標bh 目標bi	...	合計・ 平均
技能	目標ca 目標cb 目標cc	目標cd 目標ce 目標cf	目標cg 目標ch 目標ci	...	合計・ 平均
知識・ 理解	目標da 目標db 目標dc	目標dd 目標de 目標df	目標dg 目標dh 目標di	...	合計・ 平均

◎問題点

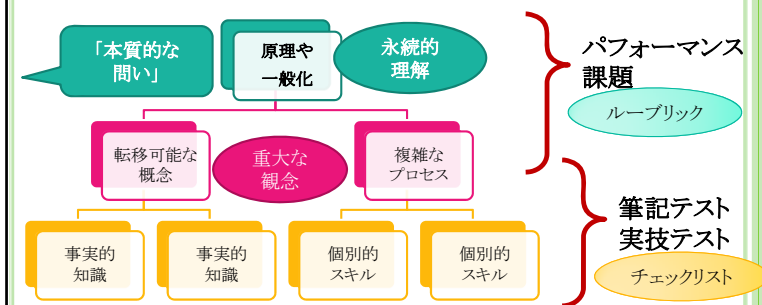
- 目標が限りなく細分化。⇒多忙化
- 評価方法がわからない。
- 「高次の学力(思考力・判断力・表現力等)」が評価できるか、疑問。
- どの程度のパフォーマンスが見られれば「良し」と判断できるのか、不明。
～スタンダード←社会的に共通理解
- 伸びないことが前提？！
←形成的評価(授業改善のための評価)と総括的評価(指導後の状況を記録するための評価)の区別がついていない。

(2)「逆向き設計」論



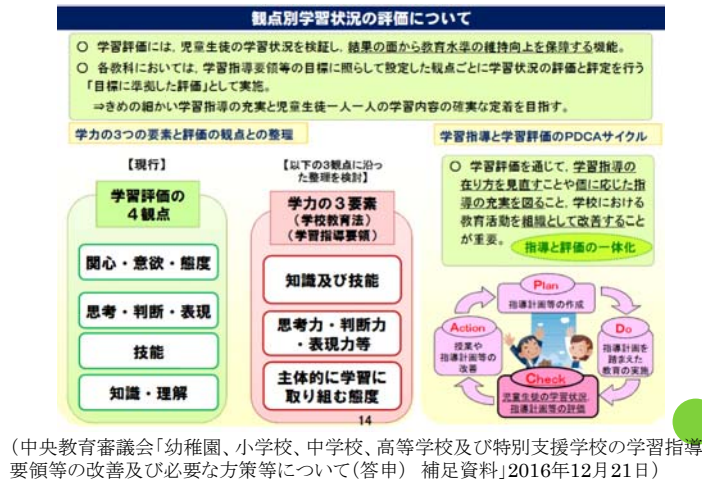
(G・ウィギンズ & J・マクタイ、西岡加名恵訳『理解をもたらすカリキュラム設計』日本標準、2012年)

◎「知の構造」と評価方法・評価基準



(西岡加名恵『教科と総合学習のカリキュラム設計——パフォーマンス評価をどう活かすか』図書文化、2016年、p.82。McTighe, J. & Wiggins, G., *Understanding by Design: Professional Development Workbook*, ASCD, 2004, p.65の図や、Erickson, H.L., *Stirring the Head, Heart, and Soul*, 3rd Ed. Corwin Press, 2008, p.31の図をもとに作成。G・ウィギンズ/J・マクタイ、西岡加名恵訳『理解をもたらすカリキュラム設計——「逆向き設計」の理論と方法』日本標準、2012年も参照)

(3) 2017年改訂学習指導要領に対応する 学習評価のあり方



◎パフォーマンス評価、ポートフォリオの活用

- 資質・能力のバランスのとれた学習評価を行っていくためには、指導と評価の一体化を図る中で、論述やレポートの作成、発表、グループでの話し合い、作品の制作等といった多様な活動に取り組みさせるパフォーマンス評価などを取り入れ、ペーパーテストの結果にとどまらない、多面的・多角的な評価を行っていく必要がある。さらには、総括的な評価のみならず、一人一人の学びの多様性に応じて、学習の過程における形成的な評価を行い、子供たちの資質・能力がどのように伸びているかを、例えば、日々の記録やポートフォリオなどを通じて、子供たち自身が把握できるようにしていくことも考えられる。

（中央教育審議会「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」2016年12月21日）

◎「主体的に学習に取り組む態度」

- 「学びに向かう力・人間性等」に示された資質・能力[のうち]、感性や思いやり等については観点別学習状況の評価の対象外とする必要がある。
- 評価の観点のうち「主体的に学習に取り組む態度」については、学習前の診断的評価のみで判断したり、挙手の回数やノートの取り方などの形式的な活動で評価したりするものではない。子供たちが自ら学習の目標を持ち、進め方を見直しながら学習を進め、その過程を評価して新たな学習につなげるといった、学習に関する自己調整を行いながら、粘り強く知識・技能を獲得したり思考・判断・表現しようとしていたりしているかどうかという、意思的な側面を捉えて評価することが求められる。

（中央教育審議会「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」2016年12月21日）

◆**お勧め：** 田中耕治「関心・意欲・態度問題にこたえる」同『学力評価論の新たな地平』三学出版、1999年、pp.99-110

◎観点別評価のあり方

- これらの観点については、毎回の授業で全てを見取るのではなく、単元や題材を通じたまとまりの中で、学習・指導内容と評価の場面を適切に組み立てていくことが重要である。
- 学習指導要領改訂を受けて作成される、学習評価の工夫改善に関する参考資料についても、詳細な基準ではなく、資質・能力を基に再整理された学習指導要領を手掛かりに、教員が評価規準を作成し見取っていくために必要な手順を示すものとなることが望ましい。そうした参考資料の中で、各教科等における学びの過程と評価の場面との関係性も明確にできるよう工夫することや、複数の観点を一体的に見取ることなども考えられることなどが示されることが求められる。

（中央教育審議会「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」2016年12月21日）

(4) 学力評価計画の立て方: “三次元モデル”

観点	評価方法	単元1	単元2	...	単元X	単元Y	総括的評価
主体的に学習に取り組む態度							
思考力・判断力・表現力	パ課題		○		◎		到達レベル(質)
知識・技能	筆記／実技テスト	○	○		○	○	到達レベル(量)

ループリック

チエクリスト

類似的課題を少しずつレベルアップしながら繰り返し与える。

◎学力評価計画を評価する視点

- ◆カリキュラム適合性 ←妥当性
- ◆比較可能性 ←信頼性
- ◆公正性:
平等性、結果的妥当性、条件の明瞭さ、公表と承認の原則
- ◆実行可能性

教育実践改善のための評価計画！

実践を踏まえて改訂・改善する！

(西岡加名恵「教育評価の方法原理」
田中耕治編『よくわかる教育評価』ミネルヴァ書房、2005年)

◎注意:観点別評価の観点と、ループリックの観点とは、区別しましょう。

	因果関係を捉える思考力	資料活用能力
5	社会的な事象について、政治・経済・文化・地形などの構成要素から3つ以上の視点が与えられる。これらの視点を総合的に関連的に分析し、最適で詳細かつ具体的な、非常に説得力のある主張を組み立てる。	社会的な事象について、政治・経済・文化・地形などの構成要素から3つ以上の視点が与えられる。これらの視点を総合的に関連的に分析し、最適で詳細かつ具体的な、非常に説得力のある主張を組み立てる。
3	社会的な事象について、政治・経済・文化・地形などの構成要素から2つ以上の視点が与えられる。これらの視点を関連づけつつ、基本的な根拠をあげて明確な主張を述べる。	社会的な事象について、政治・経済・文化・地形などの構成要素から2つ以上の視点が与えられる。これらの視点を関連づけつつ、基本的な根拠をあげて明確な主張を述べる。
1	社会的な事象について、政治・経済・文化・地形などの構成要素から1つの視点が与えられる。この視点に基づいて、基本的な資料の読み取りや、簡単な記述ができる。	社会的な事象について、政治・経済・文化・地形などの構成要素から1つの視点が与えられる。この視点に基づいて、基本的な資料の読み取りや、簡単な記述ができる。

観点
(分けなくても可)

記述語
(規準と徴候)

尺度
(数レベル程度)

アンカー作品を添付

3. 様々な書式の例

(1) E.FORUM 単元設計 テンプレート (参考書式)

単元設計テンプレート (参考書式)

学年 学期 単元 単元設計者 学年 学期 単元 単元設計者

1 単元設計の目的

2 単元設計の目標・内容・評価方法

3 単元設計の目標・内容・評価方法

4 単元設計の目標・内容・評価方法

5 単元設計の目標・内容・評価方法

6 単元設計の目標・内容・評価方法

7 単元設計の目標・内容・評価方法

8 単元設計の目標・内容・評価方法

9 単元設計の目標・内容・評価方法

10 単元設計の目標・内容・評価方法

11 単元設計の目標・内容・評価方法

12 単元設計の目標・内容・評価方法

13 単元設計の目標・内容・評価方法

14 単元設計の目標・内容・評価方法

15 単元設計の目標・内容・評価方法

16 単元設計の目標・内容・評価方法

17 単元設計の目標・内容・評価方法

18 単元設計の目標・内容・評価方法

19 単元設計の目標・内容・評価方法

20 単元設計の目標・内容・評価方法

21 単元設計の目標・内容・評価方法

22 単元設計の目標・内容・評価方法

23 単元設計の目標・内容・評価方法

24 単元設計の目標・内容・評価方法

25 単元設計の目標・内容・評価方法

26 単元設計の目標・内容・評価方法

27 単元設計の目標・内容・評価方法

28 単元設計の目標・内容・評価方法

29 単元設計の目標・内容・評価方法

30 単元設計の目標・内容・評価方法

31 単元設計の目標・内容・評価方法

32 単元設計の目標・内容・評価方法

33 単元設計の目標・内容・評価方法

34 単元設計の目標・内容・評価方法

35 単元設計の目標・内容・評価方法

36 単元設計の目標・内容・評価方法

37 単元設計の目標・内容・評価方法

38 単元設計の目標・内容・評価方法

39 単元設計の目標・内容・評価方法

40 単元設計の目標・内容・評価方法

41 単元設計の目標・内容・評価方法

42 単元設計の目標・内容・評価方法

43 単元設計の目標・内容・評価方法

44 単元設計の目標・内容・評価方法

45 単元設計の目標・内容・評価方法

46 単元設計の目標・内容・評価方法

47 単元設計の目標・内容・評価方法

48 単元設計の目標・内容・評価方法

49 単元設計の目標・内容・評価方法

50 単元設計の目標・内容・評価方法

51 単元設計の目標・内容・評価方法

52 単元設計の目標・内容・評価方法

53 単元設計の目標・内容・評価方法

54 単元設計の目標・内容・評価方法

55 単元設計の目標・内容・評価方法

56 単元設計の目標・内容・評価方法

57 単元設計の目標・内容・評価方法

58 単元設計の目標・内容・評価方法

59 単元設計の目標・内容・評価方法

60 単元設計の目標・内容・評価方法

61 単元設計の目標・内容・評価方法

62 単元設計の目標・内容・評価方法

63 単元設計の目標・内容・評価方法

64 単元設計の目標・内容・評価方法

65 単元設計の目標・内容・評価方法

66 単元設計の目標・内容・評価方法

67 単元設計の目標・内容・評価方法

68 単元設計の目標・内容・評価方法

69 単元設計の目標・内容・評価方法

70 単元設計の目標・内容・評価方法

71 単元設計の目標・内容・評価方法

72 単元設計の目標・内容・評価方法

73 単元設計の目標・内容・評価方法

74 単元設計の目標・内容・評価方法

75 単元設計の目標・内容・評価方法

76 単元設計の目標・内容・評価方法

77 単元設計の目標・内容・評価方法

78 単元設計の目標・内容・評価方法

79 単元設計の目標・内容・評価方法

80 単元設計の目標・内容・評価方法

81 単元設計の目標・内容・評価方法

82 単元設計の目標・内容・評価方法

83 単元設計の目標・内容・評価方法

84 単元設計の目標・内容・評価方法

85 単元設計の目標・内容・評価方法

86 単元設計の目標・内容・評価方法

87 単元設計の目標・内容・評価方法

88 単元設計の目標・内容・評価方法

89 単元設計の目標・内容・評価方法

90 単元設計の目標・内容・評価方法

91 単元設計の目標・内容・評価方法

92 単元設計の目標・内容・評価方法

93 単元設計の目標・内容・評価方法

94 単元設計の目標・内容・評価方法

95 単元設計の目標・内容・評価方法

96 単元設計の目標・内容・評価方法

97 単元設計の目標・内容・評価方法

98 単元設計の目標・内容・評価方法

99 単元設計の目標・内容・評価方法

100 単元設計の目標・内容・評価方法

(三藤あさみ「検討会に関連づけて思考する力を育成する」西岡加名恵・田中耕治編著「活用する力」を育てる授業と評価 中学校」学事出版、2009年。書式の考案は宮本浩子先生による。Cf. 宮本浩子・西岡加名恵・世羅博昭「総合と教科の確かな学力を育むポートフォリオ評価法・実践編」日本標準、2004年、pp.136-137)